

特集

インフラの戦略的な維持管理

～維持管理の高度化・効率化～

【特集の趣旨】

我が国のインフラは、「安全・安心の確保」、「持続可能な地域社会の形成」、「経済成長の実現」の基盤となるものです。今後、建設から50年以上経過するインフラの割合が加速度的に増加する見込みである中、インフラの維持管理・更新を計画的に進め、新技術の活用等により効率的・効果的なインフラの維持管理が求められています。

新技術の活用に不慣れな小規模地方公共団体等にとっては、新技術のノウハウが不足していると考えられることから、国土交通省において、地方公共団体におけるモデルケースの実施を通じて、「インフラ維持管理における新技術導入の手引き（案）Ver0.1」を作成し、令和3年3月に公表しています。令和4年12月には社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会において、今後のメンテナンスのあり方に関する提言として、『総力戦で取り組むべき次世代の「地域インフラ群再生戦略マネジメント」～インフラメンテナンス第2フェーズへ～』がとりまとめられ、公表されました。

新技術の導入に際しては、導入コストや検討段階における技術の有有用性評価などが課題となっています。こうした状況を踏まえ、地方公共団体への支援策として「研究開発とSociety 5.0との橋渡しプログラム（BRIDGE）」の活用を推進し、専門家（アドバイザー）によるハンズオン支援のモデル事業等を通じて新技術の活用を促進するとともに、技術者育成に向けた体制整備についても検討を進めております。

今号の特集では、総論として「持続可能なインフラメンテナンスの実現に向けて」について概説するとともに、各事業による維持管理業務の高度化・効率化に向けた地方整備局、地方公共団体の具体的な取組事例や地方公共団体への支援事例等について紹介します。

特集担当編集委員 菅原 利幸

（国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 課長補佐）



道路メンテナンス技術集団による、樋島大橋の直轄診断現地調査（今号P16～18「吊橋である樋島大橋（上天草市）の直轄診断」より）



CONTENTS

・持続可能なインフラメンテナンスの実現に向けて	8
・XAI (Explainable AI) による道路附属物点検の高度化	12
・吊橋である ひのしま 樋島大橋（上天草市）の直轄診断	16
・堤防除草における3次元展開図の現場導入	19
・雨天時浸水対策と連携した管路点検・調査の効率化	22
・適切かつ持続可能な港湾施設の維持管理	25
・新技術導入によるインフラメンテナンス	28